

寿司レストランを買収し E2ビザで再入国果たす



夢の街マイアミ 不動産投資事情

コアラ社長の

審査で認められなければ入国できずにそのまま日本へ送り返され、その後10年間アメリカの入国が拒否されるという最悪のケースも想定し、万全を期して取り組まなければならぬ。面接は30分以上も英語と日本語両方で、質問の嵐であった。入国審査はできるだけマイアミに近い都市(マイアミへは日本から直行便が出ていない)を検討し、アトラクタに決定。別室に連れていかれることもなくポトン、とスタンプの音が鳴り響き、ポーカーフェイスだが心の中では大きくガッツポーズを振り上げた。

不動産投資を目的とする現地法人を設立後、2011年にL1ビザを取得して、妻と当時小学生の子どもたち3人を連れてマイアミへ移住した。しかし、14年にはいったんビザの有効期限が終了し、日本に滞在しながら次のビザ申請の手続きを進めてきた。32万ドルを投資してマイアミビーチの北にあるサーフサイドにある寿司レストランを買収し、11月中旬になってようやく新たにE2ビザを取得することに成功した。そして無事アメリカへ再入国を果たすことができた。チャージ制である移民弁護士費用は10万ドル超え、別に申請書類の翻訳代や運転資金等で合計50万ドル程の投資額となった。

E2ビザの許可を得るには領事館での面接をクリアし、新たなビザ取得後の1回目の入国審査をパスしなければならない。面接をクリアしビザを手しても、疑義を持たれ入国

道路は渋滞、不動産は郊外も値上がり続く

至るところで高速道路網も整備されたが、マイアミ郊外に新規の住宅が大量に供給され続けたため、以前にも増して主要道路の渋滞は重大になっていた。不動産価格は中心部に限らず、郊外の物件も値上がりしている。まだまだ上昇局面は続きそうだ。筆者が新オーナーとなった寿司レストランも、材料の仕入れ単価の値上がりが続ぎ、メニュー表も値上げし、リノベーションによってテーブル席も増設した。NYが本格的に冬を迎えるこれらが稼ぎ時だ。

来年からはマイアミ不動産投資ツアーも再開予定であり、早速1月25日から30日までの4泊6日の予定で計画したところ、すでに16人の参加申し込みがあった。4月からのマリーリンズ球場での試合日程も入手しているため、3000本安打が目前に迫るイチローの試合観戦付きツアーも計画している。

12月2日付の全国紙USA TODAYではあのバリー



筆者オーナーの寿司レストランとしてマリーリンズと調整段階であるとトップで出していた。来年はイチローを指導するボンズとのツーショットも見ることができるとも知れない。来年は筆者が企画するマイアミ不動産投資ツアーをお楽しみに！(小原隆浩)

隔週掲載